

# 豊かな感性、書道では県展無鑑査

## 田中らんどう氏(64歳) 村議選へ事務所開き



決意を述べる田中らんどう氏

田中氏は昭和二十九年、専業書家として自宅や三の会を発足。その活動五月五日、燕市出身。三条市、新潟市などで書道の中で村政に関心をもち、村議選への立候補を就職。平成五年に帰郷。二十六年、弥彦の門前。決断した。

七年六月に弥彦村に移。町を活性化させようと。選挙戦では後援会は設置。現在は県展無鑑査の「弥彦明るい未来を考え、兄のタナカ・キン」

# 対立繰り返すだけ、前進はない

## 反対派五人組も同罪パレード

弥彦村議会議員選挙に立候補を予定している専業書家田中らんどう(本名・田中健二)氏(64)は七日午後一時半から自宅、事務所開きを行い、支持者など約三十人が集まるなか、田中氏は村長派と反村長派が激しく対立する現状を批判し、「皆さんと一緒に弥彦村をよりのよい村に発展させていきたい、その一念で頑張ります」と、初当選に向けて支持を訴えた。

燕市議が全面的にバックアップで、考える会にも参加。ポスター掲示責加している坂井良一坂井任者は、燕中学校の一年商店社長を務める。



約三十人が集まった事務所開き

# 塚田



村度はなか



塚田会長統投を確認した自民議員団の党議

度発言は県議選終盤のことであり、大きな影響はなかった。ただ、本人の選挙が大変だ(桜井基一政調会長)の通り、現職二人が落選する結果となったが、柄沢幹事長は、選挙区個々の事情があり、直接的な影響はなかったとみるが、塚田会長は、現職に議席を失った



協力を呼びかけるタナカ・キン燕市議

自宅一階に開設した事務所には、支持者をはじめ、タナカ、柳川隆の両名、燕市議、越中亀久恵、鈴木靖夫西元村議、野崎久雄三条市議らが応援に駆け付けた。

開会あいさつで、坂井「今、この村政は好きを正しく見方、協力しあうべき」と訴えた。

越中元村議は「田中さんの豊かな感性の持ち主。しかも書道という美術の分野において県展無鑑査。そういう人を議会に送って、我々の意見を反映させてこそ、弥彦村のますますの発展、輝く、反対、反対のオンパレード。その結果、何一つ前進しない村を突き付けられている」と批判した。

最後に、「皆さんと一緒に弥彦村をよりのよい村に発展させていきたい、その一念で頑張ります。変えます、弥彦村、そして皆さんの声を届けます。一緒に弥彦村を変えたい」と力強く決意を述べた。

初当選を期して全員で「頑張ろう」コール。事務所開きは二時十分ごろ終わった。

村議選は十六日告示、二十一日投票、即日開票が行われる。定数十に対して現職七人、新人五、六人が立候補を予定している。



初当選を期してガンバロー!!コール

タナカ市議は「ただ単に何か派、何か派で、燕から見て何と何と愚かなことかと思う。対立からは何も生まれない。議員になった暁には私からも指導するので、ぜひとも皆さんの協力で弟を押し上げていただきたい」と協力を呼びかけた。

田中氏と同じ九条の会員の鈴木元村議は「弥彦は保守性が強いところだが、どんどん変わっていき、当選できるような力を合わせて頑張りたい」と支持を表明した。

決意表明に立った田中氏は現在の小林村政について「四年間、見守ってきたが、対立を繰り返すばかり。何一つ前進しない。村長派といわれる人たちは自分の考え、自分の言葉でしゃべらず、常に後援会を背に議会をなごらしてきている。片や反対派と称される人たち、五人組と揶揄(やゆ)される人たちも同罪。議案の中身を検討せず、反対、反対のオンパレード。その結果、何一つ前進しない村を突き付けられている」と批判した。

最後に、「皆さんと一緒に弥彦村をよりのよい村に発展させていきたい、その一念で頑張ります。変えます、弥彦村、そして皆さんの声を届けます。一緒に弥彦村を変えたい」と力強く決意を述べた。

初当選を期して全員で「頑張ろう」コール。事務所開きは二時十分ごろ終わった。

村議選は十六日告示、二十一日投票、即日開票が行われる。定数十に対して現職七人、新人五、六人が立候補を予定している。



創業以来百六十年 国内産・免費重石の専門店 若槻石材株式会社 三条市本町六 021-696416